

9/15 早稿

# 県内学校 同時流行

## 新型コロナ

県内の学校で、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が発生している。多くの学校で原因とみられるのが学校祭だ。マスクを着用しない状態で密になる機会が増え、休校に踏み切った学校もある。インフルエンザは既に昨季より4カ月以上も早く流行期に入っている。感染拡大につながっている。

(谷田知謙)

福井市のある県立高校では8月末に3日間の学校祭を開催。週が明けた9月上旬の登校日、発熱者が続出し100人以上が休んだ。ほとんどが、新型コロナウイルス感染者だ。一方、同時期に市内の別の県立高も学校祭後に発熱者が増えたが、多かったのがインフルエンザ感染者。いずれに感染しても、おかしくない状況が続いている。

## 多くの原因は 学校祭の密?

## インフル

県が13日に発表した新型コロナウイルスの4~10日の発生動向によると、県内39カ所の定点医療機関から報告された感染者数は633人と、前週比139人増。1機関あたりの報告数は16・23人で、定点把握に切り替えた5月8日以降、最多。全数把握に陥り換えた県の試算では、1日当たり490人程度が感染しているとみられる。

インフルエンザも県が13日、県内が流行期入りしたと発表。4~13日に臨時休業した累計数は「休校」が高校などで1件、「学生閉鎖」が高校などと中学校で6件ずつ、小学校で1件ある。

県立高の学校祭は8月下旬~9月上旬に開かれ、中学校の学校祭は9月中に開かれる。特に学校祭に向けた準備で密になる傾向にあり、ある県立高教諭は「準備の活動も熱中症対策で冷房がかかっている部屋でやる。空気の入れ替えもしない」と指摘。別科教諭は「今の3年生はようやくコロナの規制がなくなった学校祭。楽しみたい気持ちも分かる」と子どもたちの思いをくみ取った。

今後は子どもから家族への感染の広がりが懸念される。県の担当者は「手洗いやマスクの着用など、田舎の感染対策が重要な」と話した。